HITACHI
Inspire the Next

日立 IH クッキングヒーター（据置タイプ）

設置説明書

型式 **HT-33AG** 30A仕様
型式 **HT-32AG** 20A仕様

設置される方へのお願い
- この設置説明書は、保証書、取扱説明書、カンタンご使用ガイドとともに必ずお客様にお渡しください。
- 本体設置時に、トッププレートや操作部ユニットを分解しないでください。
- 試運転を必ず行い、お客様へ正しい使いかたをご説明ください。

- この製品は、日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。またアフターサービスもできません。
- HT−33AGは、アンペアブレーカーの容量を60A以上にすることをおすすめします。60A未満の場合は、アンペアブレーカーの容量を増やすか、本製品の総消費電力を4.8kWに切り替えることをおすすめします。

安全のため必ずお守りください

設置をする前に、この設置説明書をよくお読みになり、正しく設置をしてください。

ここに示した注意事項は、
表示内容を無視して誤った使いかたや設置や工事をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例

⚠ 「警告や注意を促す」内容のものです。

禁止 してはいけない「禁止」の内容です。

指示 実行しなければならない「指示」内容のものです。

⚠警告

指示 **設置は、この「設置説明書」に従って、確実に行う**
（ブレーカーは「切」にして行ってください）
設置に不備があると、漏電・火災の原因になります。

指示 **HT−33AGは200V−30A、HT−32AGは200V−20A以上の専用回路と漏電しゃ断器を設置する→（P.3）**
この工事をしないと、配線部が異常発熱するおそれがあり、感電・火災の原因になります。

分解禁止 **分解・修理・改造は行わない**
発火・異常動作してけがをするおそれがあります。

指示 **電気配線工事は、電気設備技術基準等関連する法令・規則等に従って必ず「法的有資格者」が行う**
接続・固定が不完全な場合は、漏電・火災の原因になります。

指示 **設置は、製品の重量に十分に耐える所に確実に行う**
耐重量不足や取付が不完全な場合、製品の落下や転倒によりけがをするおそれがあります。

アース線を接続せよ **●アースを確実に取り付ける**
アースの取り付けは、電気工事店または販売店にご相談ください。

●アース工事は、電気設備技術基準等関連する法令・規則等に従って必ず「法的有資格者」によるD種接地工事を行う
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないこと
漏電時に感電のおそれがあります。

禁止 **●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたり、重いものをのせたり、はさみ込んだりしない**

●電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

●ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない

禁止 **トッププレートに衝撃を加えない**
万一ひびが入ったり割れると、過熱・異常動作・火災・感電の原因になります。
トッププレートの上に乗ったり物を落としたりしない。

⚠注意

禁止 **試運転中、試運転後は、トッププレートやグリルなどの高温部に触れない**
やけどのおそれがあります。

車両・船舶には設置しない
使用中に機器が傾いたり、火災・やけどのおそれがあります。

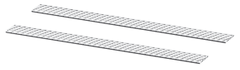
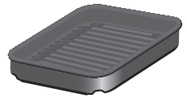
指示 **製品近傍のシステムキッチンの材料は、95℃以上に耐えるものを使う**
システムキッチンの変色・変形の原因になります。

指示 **カウンタートップの材料は、耐熱材料のものを使う**
熱硬化樹脂化粧板（JIS K 6903）またはこれと同等以上の耐熱性を有する材料
耐熱性の低い材料を使用すると、変形・火災の原因になります。

ニス引きのものは変色するため、使わないでください。

設置をされる方へのお願い

●本製品は、適切な電気工事と設置がされていませんと性能が十分発揮できないばかりか、過熱などの危険が生じる場合がありますので、この設置説明書をよくお読みのうえ、適切な工事を行い、設置してください。
●電気工事は、必ず「電気工事士」の免許をお持ちの方が行ってください。
●設置完了後は、「設置完了後の確認」を行い、お客様へご説明ください。
●下記の付属品の確認をしてください。
●ガスの配管やガスメーター、ガス栓等のガス工作物は無断で撤去しないでください。法令により規制されていますので、事前にガス事業者へ連絡してください。

排気カバー	グリル受け	ラク旨グリル
2個	1個	1個
		
	グリルの中にセットされています。	グリルの中にセットされています。

※保証書、取扱説明書、カンタンご使用ガイドがあることを確認してください。

⚠警告

指示 **設置するときは、火災予防条例に基づき、必ず可燃物との離隔距離を守る**
離隔距離が近いと火災の原因になります。

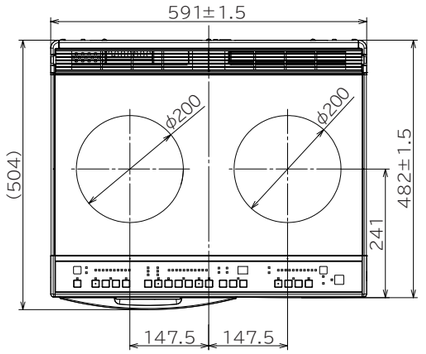
禁止 **電源電線およびアース線は、電源プラグを外して直結しない**
漏電やショートによる感電・発火の原因になります。

指示 **電源プラグの刃および刃の取付面に、ほこりが付着していないことを確認し、ガタのないよう根元まで確実に差し込む**
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合、感電や火災の原因になります。

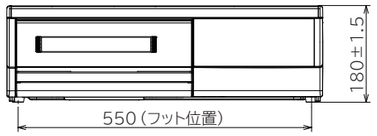
禁止 **電源プラグを水につけたり、水をかけたりしない**

製品寸法図 （単位：mm）

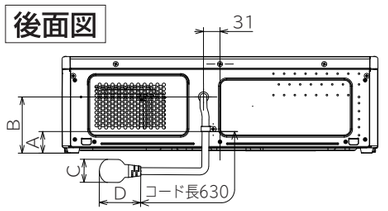
上面図



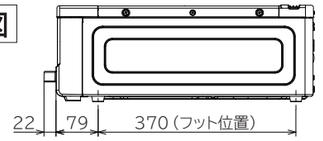
前面図



後面図



側面図



	HT-33AG	HT-32AG
A	40	27
B	105	82
C	43	40
D	77.5	65

電気工事 必ず電気工事士の免許をお持ちの方が行ってください。

専用回路、漏電しゃ断器の設置

●専用回路、漏電しゃ断器を設置してください。

項目 / 型式	専用回路	漏電しゃ断器
HT−33AG	単相200V・30A	定格電流：30A　感度電流：15mA
HT−32AG	単相200V・20A	定格電流：20A　感度電流：15mA

【総消費電力の切り替えについて】

HT−33AGは、工場出荷時総消費電力が5.8kWに設定されておりますが、アンペアブレーカーの容量不足（60A未満）の場合など、ご使用環境に合わせて4.8kWに切り替えることもできます。詳細は、お買上げの販売店へお問い合わせください。

●切り替え方法

①左IHヒーターの「火力」ボタン ◀ と右IHヒーターの「火力」ボタン ▶ 2つのボタンを同時に押しながら電源スイッチを押し電源を入れる。
➡タイマー表示部に 5 ↔ 80 が表示されます。
②左IHヒーターの「火力」ボタン ◀ を押す。➡ 4 ↔ 80 が表示され4.8kWに設定される。
③左IHヒーターの「火力」ボタン ▶ を押す。➡ 5 ↔ 80 が表示され5.8kWに設定される。
※ボタンを押さない状態で5秒経過すると、切り替えられなくなります。このときは、再度①②③の操作を行ってください。
④電源スイッチを押して電源を切る。
※設定の確認は①の操作を行ってください。設定の確認後は電源スイッチを押して電源を切ってください。

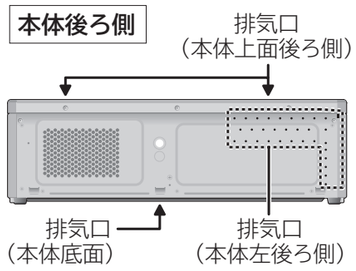
設置場所の確認

●火災予防条例、電気設備に関する技術基準を定める省令第59条に従って設置してください。
●製品の金属部がキッチンの金属部と接触する場合、建造物の壁中の金属（メタルラスなど）とキッチンの金属部を接触しないようにするか、製品の金属部がキッチンの金属部に接触しないように取り付けてください。（電気設備技術基準第145条で危害なきよう設置することが定められています）

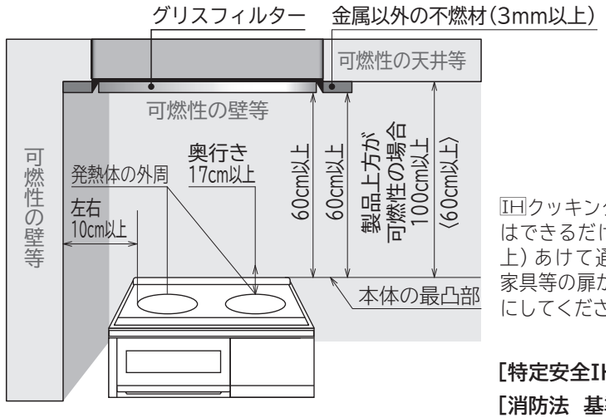
⚠注意

指示
製品は水平に設置する
製品が傾いていると、鍋が滑り落ち、やけどやけがの原因になります。

禁止
排気口の付近に可燃物を置かない
排気口付近は、高温になるため他製品の電源コードや汚れ防止カバーを置いたり、新聞紙など敷いたりすると、他製品の故障、やけどや火災の原因になります。



■このIHクッキングヒーターは「消防法 設置基準」に基づく試験基準に適合しております。建築物の可燃物から図のように離して設置してください。
〈 〉内は不燃材または防熱板を取り付けた場合
周囲の壁が不燃材の場合：本体外周から左右は、０ｃｍ以上

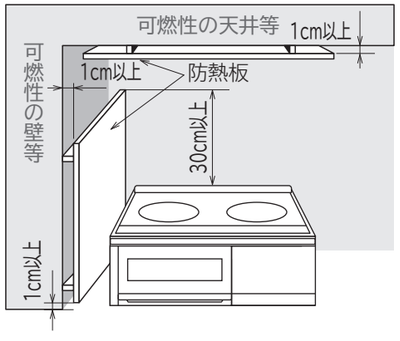


製品の後ろから壁までの距離を
3cm以上（発熱体の外周から17cm以上）
離して設置してください。

IHクッキングヒーターの前面はできるだけ広く（60cm以上）あけて通行時や冷蔵庫・家具等の扉が当たらないようにしてください。

［特定安全IH調理器適合品］
［消防法　基準適合　組込形］

■左記寸法がとれない場合には、不燃材による防熱板を取り付けてください。



防熱板はこれを設けたとき、機器周囲の可燃物の温度が室温35℃の時100℃を越えない断熱性を有すること。
本体の後面に取り付ける場合も、側面と同じ距離を設けてください。

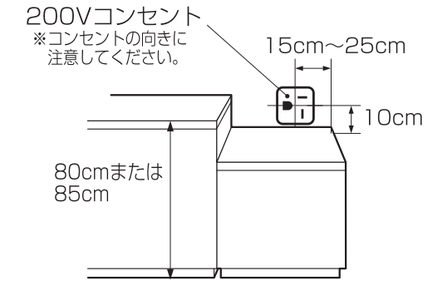
コンセントの設置

D種接地工事を必ず行ってください。（コンセントの一極接地用に配線してください）

● IH クッキングヒーター用のコンセントは規格で次のようなものが標準品となっていますので、事前にご確認の上、設置してください。

型式＼項目	器具の容量	幹線の太さ	コンセントの形状	電源プラグの形状
HT−33AG	30A	φ2.6mm	単相200V用（接地極付）250V-30A 小型30A電源プラグ対応コンセント 従来の30Aコンセントとは 極配置が異なります。	小型30A電源プラグ
HT−32AG	20A	φ2.0mm	単相200V用（接地極付）250V-20A	

■コンセント推奨位置

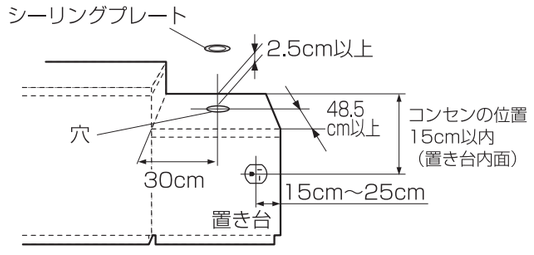


この位置にコンセントを設ける場合は、水はね防止のため、IH クッキングヒーターにバックガード（HT−BGK3）（別売品）を取り付けることを推奨します。
※キッチンの種類によっては、継ぎ目がそろわないことがあります。

■置き台より下にコンセントを設置する場合

ホールソーなどを使い、置き台に60～70mmの穴を開ける。
※開口した穴をふさぐときは、シーリングプレートを貼り付けてください。

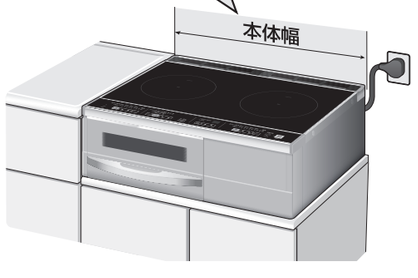
●シーリングプレート（別売品）
品番:HT-SP13
※取り付けなどの詳細は別売品に添付されている設置説明書をご覧ください。



ご　注　意

●コンセント推奨位置または、置き台より下にコンセントの取り付けができない場合は、壁面に取り付けてください。ただし、コードの長さが630mmのため、取り付け範囲は本体の間近でないと取り付けられません。

排気が当たりますので、本体幅の範囲内にコンセントを取り付けないでください。



設置完了後の確認

●通電をする前にグリル庫内、トッププレートの上に梱包材がないことを確認してください。
●設置終了後、次の手順で確認してください。
●試運転中、試運転後は、本体が熱くなりますのでやけどに注意してください。

確　認　項　目		確認欄
梱包材の取りはずし	グリルのテープ止めを外し、パッキンを外したか確認してください。	
	グリル庫内、トッププレートの上に梱包材がないか確認してください。	
付属品などの取り付け	排気カバー、グリル部（グリルドア、グリル受け、ラク旨グリル）を取り付けましたか。	
電気工事	アースが接続されていますか。	
	漏電しゃ断器が設置されていますか。	
	電源プラグを接続しましたか。	
試運転	試運転前にラク旨グリルを取り外してください。	
	クッキングヒーター用の電源電圧が「単相200V」であることを確認してください。 電圧異常の場合は E61 または E6 を表示します。 （E61 は、タイマー表示部に E ↔ 61 を交互に表示します）	
	電源スイッチを「ピッ」とブザーが鳴るまで約1秒押してください。 ▶ ●電源ランプが点灯します。	
	各IHヒーターまたはグリルを「入」にして、動作を確認してください。 (1) 左・右IHヒーター 鍋にコップ1杯程度（約200mL）の水を入れ、IHヒーターの中央に置き、「火力」ボタン ◀▶ をどちらか1回押した後、「切/スタート」ボタンを押してください。 ※鍋を置かないと加熱しません。空だきはしないでください。 ▶ ●表示部の左・右IHヒーターの火力表示ランプが「1」～「5」まで点灯します。しばらくすると、お湯が沸とうします。	
	(2) グリル グリルの「メニュー」ボタンを押して「手動」を選び、グリルの「切/スタート」ボタンを押してください。 ▶ ●表示部のグリル通電表示ランプが点灯し、しばらくすると庫内が熱くなります。	
	(3) 全てのIHヒーターとグリルを停止してください。 各IHヒーターの「切/スタート」ボタンを押します。またグリルの「切/スタート」ボタンを押して停止してください。 ▶ ●火力表示・通電表示ランプが消灯します。（加熱時間によっては高温注意表示をします）	
	試運転後、ラク旨グリルを取り付けてください。	

◎各ヒーターを停止後、約10分経過するとオートパワーオフが働き、自動的に電源ランプが消灯し、電源が切れます。

●確認終了後は必ず電源スイッチを押して電源を切ってください。
電源を「切」にした場合でも継続して冷却ファンが回ることがありますが、異常ではありません。本体内部を冷ますために、ボタン操作後冷却ファンが最大約10分間作動します。（自動的に冷却ファンは止まります）

●試運転はIHで使える鍋を使用してください。
（鍋底に磁石がつくもので、底の平らな部分が直径12～26cmのもの。底の反りが3mm未満のもの）

設置説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で設置されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。

日立アプライアンス株式会社
〒105－8410　東京都港区西新橋 2－15－12　電話 (03)3502－2111

F8 (S)
2-M4028-1